

令和8年9月29日

保護者の皆様

豊田市立駒場小学校
校長 北島 加奈子

シンボルツリー（メタセコイア）の緊急安全対策について（ご報告）

清秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、長年にわたり本校のシンボルツリーとして、子どもたちの成長を見守り、地域の皆さまに親しまれてまいりました校庭・わんぱく山の「メタセコイアの木」につきまして、このたび安全確保のための緊急対策工事を実施いたしましたので、下記のとおりご報告申し上げます。長年親しんできた美しい樹形が変わってしまったことは大変痛ましく、寂しい思いもありますが、今回は「木を完全に切り倒してしまうのではなく、安全な形で残すための処置」として判断いたしました。今後は、専門業者に定期的に経過を観察してもらい、メタセコイアの回復の様子を子どもたちと共に温かく見守っていきたいと考えております。事後のご報告となりましたことを深くお詫び申し上げますとともに、子どもたちの安心・安全な環境づくりのため、何卒諸事情をご賢察いただき、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 経緯

- ・夏季休業前から片側の枝枯れが急速に進行していることが判明し、専門業者による診断を行いました。
- ・当初は、猛暑と雨不足により根本まで十分に水分が行き届いていないことが原因であるという可能性から、夏季休業中に毎日十分な灌水を行いながら様子を見守ってきました。
- ・十分な灌水を行っても枝枯れ部分は広がっていったこと、幹の傾きが見られ始めたことから、再度専門業者による診断を行い、枝枯れ部分を一部取り除いたところ、幹の中腹部分に貫通する亀裂があることが判明しました。この亀裂は、恐らく春先の落雷によるものと推察します。
- ・この亀裂により、今後も枝枯れが進行する可能性があること、枯れた大枝が強風などで突然折れて落下する危険性が高く、子どもたちの安全を脅かす極めて緊迫した状態であることが分かりました。そのため、危険回避を最優先とし、令和8年9月7日に緊急伐採（剪定）処置を執り行いました。

2 処置内容

- ・枯損した枝の伐採
→落下の危険があった枯れてしまった枝をすべて取り除きました。
- ・落雷箇所より上部の伐採（芯止め）
→落雷の影響を受けた部分から上部を伐採し、木全体の高さを抑え、今後の幹割れ・倒木やさらなる落枝のリスクを低減させました。



処置前

処置後

○ この件に関するお問い合わせは、教頭 小守（電話 0565-57-2507）までお願いします。